

# 自治会報

# さがみはら

No.59

平成23年（2011）11月発行  
発行部数 20万部

発行責任者 相模原市自治会連合会 会長 田所 昌訓

題字 相模原市長 加山 俊夫

つくりだそう自治の力で明るいまちを

相模原市自治会連合会の現況

地区自治会連合会数	22
自治会数	592
加入世帯数	179,737 世帯
班（組）数	12,405
H.23. 4. 1 現在	

事務局 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-23 けやき会館内 TEL.042-753-3419 ●〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15 相模原市役所市民協働推進課内 TEL.042-769-8226



## 平成28年度 自治会大会が開催されました!!

7月9日（土）市民会館ホールにおいて、平成23年度自治会大会を開催しました。当日は、山口副市長をはじめ、衆議院、参議院、県議会、市議会議員などのご来賓及び多くの自治会員の方々にご来場いただき、盛大に行われました。式典の部に先立ち、18万世帯の自治会員により集められた義援金約6,600万円を全自治会員を代表し、田所会長から市へ贈呈しました。

式典の部では、地域活動功労者として、個人101名、8団体及び退任理事5名に感謝状が贈呈されました。また、第2部では、新潟中越沖地震の被災地である旧山古志村元職員、現在は、山古志復興交流館準備室次長の齋藤隆氏を講師として招き、今後の相模原市の地域防災を考える場として「講演会」を行いました。講演会の中で、「震災時、職務や避難より先に、家族の安否を確認したかったが、災害時の行動について家族等と話をしたことが無かった。そのため日頃から少しでも、防災について家族や地域で話をすることが非常に大切であると感じている」と特に強調され伝えられました。

皆様は家族の避難場所は決まっていますか？小さなことからみんなで防災について考えましょう。講演会后、「さがみはらの祈りを歌とダンスにのせて被災地へ届けよう！」と題し、南区に事務所を構えるスタジオチャリーのダンスチームと、RUU（本大会の司会者である「鈴木るみ」さんです！）によるミニライブを実施し、会場は大いに盛り上がりました。



講演会



義援金贈呈



RUUミニライブ

## 新しい地域のリーダーを迎えて…

## 新任自治会長研修会が開催されました!



地域人材の育成を図るため、本年度は、6月中旬から6月下旬にかけて、市内4会場において、新たに就任された自治会長を対象に、「新任自治会長研修会」を開催しました。

本研修会の実施は、市自治会連合会として3回目となり、4会場・計6回の研修会に、合計247人という多くの新任自治会長の皆さまにご参加いただきました。当日は、会場周辺の自治会による活動事例の紹介をはじめ、「今、自治会に求められていること」をテーマとした、地区自治会連合会会長・新任自治会長・各地区地域活力推進員によりグループ討議とグループ代表者による結果発表、現在自治会が抱える課題、これからの自治会をどうしていくかについての意見交換など、たいへん有意義な研修会を実施することができたと考えています。

（2面に関連記事）



平成23年度 自治会大会

田所会長あいさつ

(要旨)

皆様方には休日何かとお忙しいところ、ご参加をいただき誠にありがとうございます。このように大勢の会員の皆様方にご集いただき、自治会大会が盛大に開催できますことを、厚くお礼申し上げます。

また、公私ともご多忙のところと存じますが、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本会は、「自治は笑顔と協働から」の合言葉のもとに自治会の相互連携、さらには行政との協働を通じて安全安心なまちづくりを心がけ活動を行っております。皆様方にもこの合言葉を念頭におき活動をおこなっていただいておりますことに、お礼申し上げます。

さて、3月11日の大震災により、日本全国が未曾有の危機に陥っておりますが、自治会といえどもおは、被災地のために少しでもお役に立ちたいと考え、3月末から募金活動を行ってまいりました。募金活動に参加・協力いただいた皆様に、改めて厚くお礼申し上げます。

功労表彰者(個人)

- 小山 関口 邦夫 原田 憲一
長谷川 甲子 野口 久美子
野田 新 萩原 敬三
田村 裕 斎木 武雄
横山 市川 朋宏
中丸 豊文 牛尾 良一
水谷 久子 大沼 敏男
中島 肇子 渡邊 博
星が丘 大村 正夫 山崎 安則
光が丘 野口 道生 阪本 敏彦
大岩 正和 石原 均
堀之内 幸廣
橋本 鈴木 利治 川口 勝也
松永 修一 井上 和洋
山崎 孝介 武田 忠清
阿部 忠夫
大野北 西澤 章 天野 賢治
岩下 光男 小川 正
岡野 敦夫 森下 正
渡邊 重治 津久井 道也
新井 崇夫 大坪 俊治
北村 馨 羽染 幸成
伊藤 英男 大野南 倉田 榮二
阿部 吉男 荒木 一英

功労表彰者(団体)

- 大野南 相模湖
大野中 津久井
大野北 城山
大野東 東林
大野西 西澤
大野南 大野南
大野中 大野中
大野北 大野北
大野東 大野東
大野西 大野西



受賞者代表

退任理事

- 細谷 昇 (大野中)
丸塚 幾男 (相模湖)
藤井 保 (城山)
加藤 純久 (相模湖)
山崎 光正 (藤野)

新任自治会長研修会

開催報告

今年度、相模原市では、市内592の自治会のうち、315の自治会において、新たな自治会長が就任されているという状況であります。

こうした中、相模原市自治会連合会では、それぞれの地域で、また、様々な場面でリーダーとして活躍される皆さまの、これからの活動を支援するという目的で、今年度3回目となる、「新任自治会長研修会」を開催しました。

6月19日の城山公民館(午前)、藤野総合事務所(午後)を皮切りに、6月25日の南区合同庁舎(午前・午後)、6月26日のウエルネスさがみはら(午前・午後)まで、4会場計6回の研修会に、合計247名の新任自治会長の皆様の参加をいただきました。

平成23年度定期総会が開催されました。

6月4日(土)午後1時30分から、けやき会館で各地区から選出された大会委員により、平成23年度定期総会を開催しました。

- 議案
①平成22年度事業結果報告
②平成22年度収支決算報告
③監査報告
④平成23年度事業計画
⑤平成23年度収支予算



東日本大震災義援金のお礼

市内592の自治会、18万世帯の自治会員の皆様 ご協力いただき、誠にありがとうございました。

平成23年7月9日までに自治会員の皆様からお寄せいただいた義援金 65,933,635円
うち 日本赤十字社義援金 33,240,973円
がんばれ大船渡銀河連邦応援金 32,692,662円

今春より、相模原市自治会連合会では、東日本大震災の被災地の復興支援を目的として、22の地区自治会連合会とともに市内約18万世帯の自治会員の皆様に義援金のご協力をお願いしてまいりました。

この義援金は自治会員の皆様の被災地復興にける想いが絆を通して結実したものと考えております。自治会員の皆様のご協力に、厚く御礼申し上げます。

相模原市自治会連合会 会長 田所 昌訓
地区自治会連合会 会長一同

自治は笑顔と協働から 平成23年度 相模原市自治会連合会役員・理事

Grid of member photos and names including: 会長 田所 昌訓, 副会長 金子 匡甫, 監事 佐藤 彰夫, 理事 野中 保, 理事 長谷川 光義, 理事 水戸 隆, etc.



第1回 南区

みんなで行こう 憩いの場!!

各区の見所紹介

次回は中央区です

南区には様々な施設があり、特に麻溝地区、新磯地区には、アウトドア派でもインドア派でも、毎週出掛けても飽きない楽しい施設・憩いの場が揃っています。



10月23日リニューアルオープン ウォータースライダー新設

A 市民健康文化センター



大小複数の体育施設があり 各種教室も実施

B 総合体育館



自然豊かで幅広い世代が楽しめます

C 相模原麻溝公園



各種体験教室や創作活動を実施

F れんげの里



競技場を活用した各種教室を実施

E 相模原麻溝公園競技場



学生の作品展示や 定期的な企画展の開催

D 女子美術大学 (女子美アートミュージアム)

人物紹介

49



石川さん

この欄では、各界で活躍される方を紹介しています。今回、新磯地区にお住まいの、「石川 龍二さん」です。石川さんは、市内新戸に本社をおく造園・土木工事等を主とした「株式会社植藤」の会長であるとともに、相模原市の「観光マイスター」としても活動としておられます。主な経歴として、相模の大風文化保存会会長、相模の大風まつり実行委員会会長、新磯観光協会副会長等、現在も広い分野において活動されています。今回は新磯の石川さんのお話を伺いました。

相模原市にはずっと住まれていますか？

私は、昭和15年に東京都世田谷区で生まれ育ちましたが、昭和19年に相模原市の新戸に引越をしてまいりまして、その後もずっと相模原市に住んでおります。自治会活動はされていますか？自治会では、以前新戸の自治会連合会長や消防団第6分団長として活動をしておりまして、自治会としての活動を行ったことにより、更に地域の重要性を確認できたと考えております。様々な活動をするうえで重要なことはなんですか？先代の社長より昔から言われていたことは、なにを

するのにも「思い」を大切にしろということ。新磯小学校の剪定を50年以上に渡り、学校職員の方にもお手伝いいただきながら、現在も必ず毎年1月7日に実施しておりますが、この地域のつながりに感謝の思いをこめて、先代が作成した初代まつの木を新磯小学校へ寄贈させていただきました。

石川さんといえば相模の大風ですがどのような活動をしてこられたのですか？

相模の大風につきましては、20歳位から風の作成等に携わっておりまして、役員に初めて就いたのは45歳位だったと思います。役員に就任後、私は、「風」と言えば相模原、相模原といえど、活動をさせてほしい、活動をさせてほしい、という全国的なイメージを構築出来ればと思っております。

その「思い」が相模の大風センターなのでしょか？

そうですね。平成に入位だったと思います。相模の大風センターの設立を夢に、市へ協力をお願いしてまいりました。しかし、当時の風揚げの開催方法は、新磯地域の「新戸、上磯部、下磯部、勝坂」の4地区の自治会が中心となり、4年に一度の輪番で、風揚げを開催しておりました。地域一丸の風揚げとは言えない状況でした。そのため、市からは、4地区合同で一つの組織になれば大風センター設立に向け協力すると回答をいただきました。その後、「皆がこころをひとつにしな」と風は揚がらない」という思いのもと、4地域の保存会で構成する相模の大風文化保存会が組織され、技術の継承や広い範囲での楽しい時間の共有が可能となることにより、平成15年に市も財政難のなか、相模の大



初代松の木

風センターが設立されたものでございます。これは私も、市の受け入れていただいた思いが重なり実現したものだと感じております。活動をしたい、印象的だったことは何ですか？自治会活動も何においても同様ですが、役員の担い手や活動の参加につきましては、なによりやる側が楽しむことが重要だと考えております。楽しいと皆のころがひとつになったところが、5年前ぐらいの風揚げの時です。風揚げは例年ですと、5分〜長くても1時間で落ちてしましますが、その時は、6時間ぐらい揚がっており、自分も驚嘆しましたし、特に印象に残っております。

今後の抱負は

風も次の会長(吉澤美芳様)にバトンタッチをいたしましたので、ビジネス以外の問題で、リサイクル事業に力を入れていきたいです。例えば昨年度に県等と行ったのは、どんぐりを子ども達が拾ってきたら、どんぐりで作ったおせんべいを一枚あげるとい、身近にあるものでこんなことが出来るんだよということ、身をもって体験してもらおうというものです。このように、日本の身近にあるたくさん資源が、こんなものにも活用できるんだよという信念のもと、様々な業種の知識豊富な仲間と相模ものづくり研究会としてチームを組んでいますので、様々な分野でこの信念のもと、活動していきたいと考えております。



### 自治会のメリットを 探して

中央地区自治会連合会  
東第二自治会  
会長 金丸 豊文

私たちの自治会区域(64世帯)は、相模原駅に近いことから、賃貸マンションやアパートなどの集合住宅が多く、現在、集合住宅世帯の加入率は20%を割っています。また、自治会の加入者の6割が70歳以上と高齢化が進んでいます。こうしたことから、若年層世帯を中心に自治会への加入の呼びかけを行いました。その際、決まって言われる台詞が「自治会加入のメリットは？」でした。私は、従来の加入案内を配布する方法ではなく、この決め台詞を言われないような具体的なメリットを考えなければならぬと思いました。

ある時、若い世代は、自分で葬儀を行わなければならないときには戸惑うことが多いという話しを聞き、地元のセシモ二一会社と提携をして自治会員ならば互助会員と同様のサービスが受けられるようにしました。この企画は大変好評でした。こうした、取組みが会員増につながればと考えています。また、今後も加入のメリットにつながる企画を考えたいと思います。



東第二自治会のある相模原駅周辺

### 供養の灯り 小倉橋灯ろう流し

城山地区自治会連合会  
自治会法人 小倉自治会  
会長 田野倉 肇

小倉自治会は、相模川沿いの水とみどりに恵まれた168世帯の自治会です。自治会加入率は約98%と高く、住民に支えられている自治会になっています。小倉の自慢は、何と云っても小倉橋です。小倉橋は「かながわの景勝50選」「かながわの橋100選」「相模川八景」に選ばれ、平成20年には「樹土木学会選奨土木遺産」にも認定されました。平成16年には新小倉橋が完成し、新旧2つの橋の対比はとも美しく相模川エリアの観光スポットになっています。

この小倉橋で毎年8月16日に「小倉橋灯ろう流し」が開催されます。今年も約5,000人のお客様が来られ



灯籠流し

先祖や故人を供養する灯ろう約700基が放流され、川面を静かに流れました。今年も相模原市と交流がある被災地の岩手県大船渡市から託された灯ろうの放流もありました。小倉自治会では、灯ろう流し開催のために自治会員約30人が2日間をわたりボランティアで会場整備などを行います。自治会としては、この灯ろう流しをはじめ多くの行事を通して地域の活性化に取り組んでいきたいと考えています。

### 毎月のお役立ち講座

大野南地区自治会連合会  
中和自治会  
会長 本間 俊三

中和自治会は、加入世帯は2,338世帯と、大野南地区の中でも大きな自治会です。約100の班にそれぞれ班長さん置いて、色々な事をお願いしています。班長さんとの連携を密接に行うために、ずっと以前から、毎月全班長さんが集まって班長会議を行っています。

これまでは、報告事項や連絡・伝達などが主な内容でしたが、今期からは会議の前30分ほどを講話の時間とし、警察からの安全講話、地域政策課からの市民に身近な行政の話、先進自治



大船渡の被害状況について市職員から説明を受ける班長さん達の様子

役員からの自治会運営のあり方についての話など、さまざまな講話を実施してまいりました。どの話も班長という役職上必要な話や生活に密着した講話であることから大変好評です。今後は福祉の話、特に介護に関する話題を数回にわたって取り上げ、班長さんが家族や班員の相談に乗ったりアドバイスできるようにすればと考えております。

### 「夏祭り・盆踊り大会」 若年層の 自治会活動への参加

相武台地区自治会連合会  
相武台団地連合自治会  
会長 佐藤 あつ子

相武台地区では、7月、8月に3週連続して各自治会(1,917世帯)による夏祭り・盆踊り大会が毎年開催されています。

当団地自治会が先陣をきり大会の盛り上げにあたりますが、会場となる団地中央公園には毎年地区内外の子ども達を中心に多くの人達で賑わいます。毎年どこから集まってくるのでしょうか？もちろんここで育ち、親になり帰る人も多く聞いています。会場内は、人がぶつかり合う程の盛況で、二日間で参加者は述べ一万人を

## むかし 昔 No.47

### 橋本地区

自治会連合会  
東橋本第一自治会長 原 照司  
相模原郷土研究家 関根 和行

橋本駅は、昭和6年に相模線、平成2年に京王線が乗り入れられ、現在乗降客も一日15万人と市内の駅では一番です。町の発展は、駅にあると言われます。苦勞して



昭和32年頃の橋本駅

### 橋本駅ものがたり

生まれた橋本駅の由来を紹介いたします。

「計画になかった橋本駅」  
横浜線は、明治41年(1908年)9月23日に開通しました。当時、生糸が輸出の花形で、盛んに横浜港からヨーロッパに輸出されていました。相模原の生糸も、八王子から最短で横浜に運ぶため、横浜鉄道株式会社によって、敷設計画がされました。この計画では、東神奈川、小机、中山、長津田、原町田、淵野辺、次は相原、八王子となっており、橋本駅の計画はありませんでした。これを知った相原村村長や相沢安右衛門を中心とした地元有志は驚

き、近隣の村々の協力を得て、鉄道会社、県庁へ再三にわたる、陳情書を提出しました。その熱意が伝わり橋本駅が設置されることになりました。

「橋本駅ゆかりの碑」  
駅から西に約200米、市の駐輪場の傍に橋本駅ゆかりの碑があります。この場所は、明治38年(1905年)9月24日、駅舎の位置を定めるため、知事や高座郡の郡長らが現地を訪れましたが、当時一面の桑畑、

麦畑で強い日をさえぎるところもなく、ちょうど、一本の大きな木の木があったので、その下で決めたと言うことです。大正15年11月相沢安右衛門が自費で記念碑を建立しました。この記念碑は、昭和59年に相沢家の庭内に移設され、

ゆかりの碑が設置されました。



ゆかりの碑



相沢家の碑

### ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせは、  
相模原市自治会連合会事務局  
(042-753-3419)  
Email: info@sagamihara-jichin.jp



夏祭り・盆踊り大会



超えます。自転車は750台余にもなり、駐輪場もいっぱいです。模擬店や踊りはサークルや各種団体の協力をいただいていますので、みんなで楽しむことにより、大変盛況であると感じております。小学生達の「夏休みの思い出」絵画展にも、たくさんの方の笑顔と思いが描かれていてやりがいを感じました。また、近年ここで遊び回っていた若者に会場設営や模擬店に積極的に参加していただき、力強く感じています。今、自治会加入率の低下が大きな課題となっていますが、盆踊り大会など自治会活動に若年層の参加が増え、自治会活動への理解と加入促進に繋がることを願っています。これからも多くの若人の参加を期待しております。

### 自治会報さがみはら 編集委員

- 河本 博 有泉 健一 (大野北)
- 佐藤 あつ子 澤塚 正史 (相武台)
- 手塚 淳 榎本 光男 (小山)
- 原 照司 岡本 誠 (橋本)
- 阿部 榮一 田所 好男 (大野中)
- 富永 尚行 矢口 敏雄 (東林)